



「北小の統廃合が決定」

■10月6日開催
教育総務グループより
 ・播磨北小学校の統廃合について、教育長から「教育委員会では今後、再検討を議題にしないことを決定した。」との説明を受け、質疑を行った。
Q 新聞報道で廃校確定を知らされたが、まず住民への説明や納得が先ではないか。住民への配慮は。
A 住民の方々の気持ちを考慮し、十分に配慮したい。住民から再検討の要望があったが、基本的にこれ以上引き伸ばすことは困難であると説明した。
Q 教育委員会で廃校見直しの話が出なかったのか。
A 教育委員一同、委員を依頼された時点では、再検討を考えていたが、日程が遅れる中でこれ以上の混乱をさせないのが一番であると考えた。
Q 廃校後の施設利用計画は。



▲給食センターの運営状況を視察（野々市町）

A まだ決まっていない。
Q 転校先の受入れ準備と、通学路の安全対策は。
A 転校生を受入れるための施設整備をし、対処する。通学路の安全対策は、十分検討し、万全に備える。
■10月23日（石川県英彦市）
「小中一貫の英語教育について」
 ・金沢市では平成16年3月に「小中一貫英語教育特区」の認定を受け、全ての市立小・中学校で実施している。
 ・中学3年生全員を対象に、英検3級の受験を行っており、合格率は現在、約30%であるが、今後合格率70%を目標としている。

10月24日（石川県野々市町）

「中学校給食について」
 ・給食システムはセンター方式で行われている。設備は平成15年2月に完成。一日1500食ができる施設で調理され、2つの中学校に配送している。
 ・給食費は一食300円で、運営は民間業者に委託されている。

民生生活

「神戸製鋼を現地調査」

■10月13日開催
「主な説明内容」
 ①対策の進み具合は
 147件の対策の内、77件が実施済みで、70件が着手済。
 ②防塵施設の設置は



▲ばい煙問題の状況を視察（神戸製鋼所）

⑤環境管理システムの更新は
 排ガスのデータを加古川市に直接送信し、改ざんができないようにする。また、データの透明性を確保する。
「今後の対応」
 ①役場庁舎1階に「公開モニター」を設置する。
 ②測定用のデポジットを古宮公民館に設置。他に町内2カ所に設置する。
 ③健康安全グループとの間で月1回報告の機会を設けている。

建設水道

「水田川の状況を視察」

10月25日開催

◎水田川での死亡事故について調査
 現地での調査及び事故の発生状況と対応について説明を受け、質疑を行った。
Q 事故があった付近の柵の一番下の部分にチェーンなど設置が必要では。また、もう1カ所危険箇所があり、そこにも必要。啓発用の看板も立てるべきでは。
A 立て看板については時期をみて設置しようとしていた。チェーンについては県土木と協議したい。

◎主要事業を調査
Q 広域的な道路であり、事業を実施すべきと考えるが、どの程度まで進行しているか。
A 都市計画決定はされているが、イコール事業化とい

かかわる考え方によるもの
 と
 と思う。
「古宮第2-1雨水幹線整備事業」について
Q この前の台風時、二子地内で被害があったが、その箇所はどうなるのか。
A その箇所はすこし土地が低めの区域であり、満水の状態になると排水できない区域である。この雨水幹線が完成すれば解消する。

「外に出さない」「飛散させない」「堆積させない」の3つに分類し実施する。
③ベルトコンベアの粉じん対策は
 総延長は50kmあり、カバーが経年劣化しており補修する。
④原料ヤードにおける粉じん対策は
 散水により湿潤化を図り飛散を防止する。また、ラインガンを増設する。

■11月2日開催
保険年金グループより
「後期高齢者医療制度」について
 後期高齢者医療制度は、平成18年6月の通常国会で「健康保険法の一部改正す

る法律」が成立し、平成20年4月から75歳以上の後期高齢者を対象に創設され、現行の老人保健制度に代わる医療制度としてスタートする。
Q 保険料の普通徴収における滞納対策は。
A 現在は子どもの扶養家族で負担がなかった方が、今後負担増となる。
 75歳以上で年金のない方が2割あり、滞納対策は広域連合で基準を決めるが、協議はまだされていない。
Q 国保は世帯に請求されるが、この保険料は個々に請求されるのか。
A 保険料は個人ごとに納めていただくことになる。
Q 現行の制度から考えられる被保険者数は。
A 約2700人弱となる。
Q 広域連合での町の事務負担と財政的負担は。
A 人口と後期高齢者の人数で積算され、1千万円ほどの経費負担。
Q 高齢者の負担が増え、国と企業の負担が減少することをどう考えるか。
A 国の医療費を抑制する方向と、社会保障制度全体に

◎主要事業を調査
Q 広域的な道路であり、事業を実施すべきと考えるが、どの程度まで進行しているか。
A 都市計画決定はされているが、イコール事業化とい

今後の取り組みについて説明を受け、質疑を行った。
Q 保護者からの制服支給の要望にどう対処するのか。
A 夏・冬の体操服を各1着標準服は校章の付け替えを予定していたが、保護者の要望を受け、体操服の夏服を2着と、標準服を1着支給するための予算措置をした。
Q 校区外通学の希望が3分の1以上あるが、なぜか。
A 通学路の安全面や距離、友達関係が要因ではないかと考えられる。
Q 子ども達の心理的問題への対応は。
A スクールカウンセラーの配置と廃校による統合加配教員を活用して対処したい。



▲水田川での事故現場を視察